

平成 25 年度 大垣市スポーツ推進審議会 会議録

▽日 時：平成 25 年 10 月 30 日（水）午前 10 時から午前 11 時 30 分まで

▽場 所：市役所北庁舎 北館 1 階 教育委員会室

▽議 題：・「大垣市スポーツ振興計画」の進捗状況について
・その他

▽出席者（敬称略）

（委 員）

堤 俊彦、工藤 勝久、安田 卓美、牧野 安孝

矢橋 陽子、高橋 美和子、小川 修司、大野 義近

井村 征夫、加藤 典克

【計：10 名】

（事務局）

山本 譲（教育委員会教育長）

田中 伸司（社会教育スポーツ課長）

水野 和彦（社会教育スポーツ課参事）

中村 友昭（社会教育スポーツ課主幹）

加藤 洋（社会教育スポーツ課主幹）

中島 康路（社会教育スポーツ課主事）【計 6 名】

▽欠席者：高橋 正紀、日下部 良邦

宇佐見 昭典（オブザーバー）

▽傍聴者：無

《審議会開催》

開会にあたって会長、副会長を選出し、会長へ議事進行をお願いするまでの間、事務局が議事進行を行う。

＜あいさつ＞

教育長挨拶（略）

＜委嘱状交付＞

出席委員に委嘱状の交付を行う。欠席委員については、後日交付を行う。

＜会長、副会長選出＞

（事務局）

昨年 6 月にスポーツ推進審議会委員を委嘱させていただき、その後、初めての審議会となるので、会長、副会長を選出する。「大垣市スポーツ推進審議会設置条例」第 5 条第 2 項に基づき、会長及び副会長は、委員の互選により定める。

(牧野委員)
事務局に一任。

(各委員)
異議なし。

(事務局)
前任期に引き続き、会長を大垣市体育連盟会長 堤 俊彦 様に、副会長は、岐阜経済大学教授 高橋 正紀 様にお願いしたい。高橋様については、本日欠席のため後日依頼に伺う。

(各委員)
異議なし。

<あいさつ>
審議会会長挨拶(略)

※議事進行については、大垣市スポーツ推進審議会設置条例第5条第3項の規定により、会長が会務を総理することとなっているため、以降の議事進行は会長が執り行う。

※傍聴希望者はなし。

(堤会長)
○欠席委員の報告
○審議会公開の報告
○事務局に対し、「大垣市スポーツ振興計画」の進捗状況について、説明を依頼。

(事務局)
「大垣市スポーツ振興計画」の概要説明。その後、進捗状況について説明(略)
※「大垣市スポーツ振興計画」の各施策において、目標指標を設けており、平成24年度の結果(数値)を報告。
数値の根拠となっているものの中に教育委員会で実施している「教育に関する市民アンケート調査」の結果を載せているが、対象を定めない無作為抽出のため、実態を把握できないとの意見が前回の審議会であった。そのため、平成24年度は、「教育に関する市民アンケート調査」に加えて、体育施設を利用している市民を対象に「体育・スポーツに関する市民アンケート調査」を実施したことを報告。
両アンケートにおいて、同じ質問を設定することで、対象を定めない無作為抽出による「教育に関する市民アンケート調査」と体育施設を利用している

市民を対象とした「体育・スポーツに関する市民アンケート調査」の結果を比較できることを説明。

（堤会長）

事務局からの説明について、ご意見、ご質問があれば、お願いしたい。

（井村委員）

「意識的に運動をしている人の割合」について、「教育に関する市民アンケート調査」では、数値が下がっていますが「体育・スポーツに関する市民アンケート調査」では、目標値を越える数値が得られているので良いことだと思う。

（小川委員）

「小・中・高校生の指導者に対する合同指導者講習会の実施」について、平成 22 年度 0 回、平成 23 年度 0 回、平成 24 年度 0 回は問題である。取り組みを何もやっていないということなのか。もしくは社会変化等の理由で実施ができないということなのか。そうすると目標値の年 2 回の実施は実現不可能なのではないか。

また、説明の中で全体を通して結果（数値）の報告ばかりで具体的に組み込みとして何を行ったかがわからない。

（事務局）

各種競技団体に関しては体育連盟を通して、指導者の講習会実施していただいている。また、独自の指導者講習会を実施している競技団体もあると聞いている。しかし、小・中・高校生の指導者に対する合同指導者講習会については、連携が難しく実施及び取り組みもできていないのが現状である。特に高校については、県の管轄になるので連携がより難しい。

（牧野委員）

陸上競技では、県の陸上協会が中心となって指導者、生徒を対象に合同強化練習を行っている。

（加藤委員）

野球競技については、依頼があれば連盟の方から学校等への指導者講習会等の派遣ができると思う。

（矢橋委員）

スポーツ少年団では、指導者の資質向上を図るため、指導者講習会を行っている。保護者については、母集団研修会も行っている。このような講習会、研修会に小・中・高の先生方にも参加していただければ、多少なりと資質向上の手助けができるのではないかと考える。

（大野委員）

墨俣地区では、企業等に依頼して指導者を派遣してもらい、子ども、指導者を対象にした講習会を実施している。

また、連合体育振興会でいいますと、事業を行う際は、各校区の代表を招集して会議を行っている。講習会の実施に向けてはそういったアプローチが必要ではないか。

（安田委員）

学校では、体育実技講習会を小学校、中学校別々ですが実施している。高校でも行われていると思うが、合同となるとやはり担当部署を定めて、代表者を集め、会議等を行い実施に向けて計画を立てる必要があると考える。

（事務局）

まずは事務局の方で各種団体が行っている講習会等の現状をしっかりと把握することに努めます。その上で、担当部署を定めるなど実施に向けた取り組みを検討していきます。

また、現在振興中の「大垣市スポーツ振興計画」ですが、平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 か年計画となっていますので、来年度後期計画の策定をします。その際には、目標指標の見直し、目標値の精査、施策ごとの担当部署の設定等を明確にして、実現可能な計画の策定に努めます。

（高橋委員）

生涯スポーツの観点からいうと、体育施設を利用している方を対象とした「体育・スポーツに関する市民アンケート調査」の結果は非常に良いものだが、対象を定めない無作為抽出による「教育に関する市民アンケート調査」の結果との格差がかなりある。大垣市民全体の健康を高め、寿命をのばすためには、全体的な底上げが必要であり、保健センター等の協力を得て、健康意識の向上を図っていくことも重要である。

（工藤委員）

子どものためのスポーツ環境の整備が重要であると考え。そのためには、地域の連携が重要である。「地域で子どもたちを育てる」ための何かが今後もっとできればと思うし、そういったことを盛り込んだ計画が策定できれば理想かと考える。

（井村委員）

地域スポーツクラブについて、私も以前日新のバトミントン教室に携わっていた。大垣市が目指す「大垣型地域スポーツクラブ」の確立についてのイメージをこの振興計画を読んで初めて理解した。後期の計画を策定して推進する際もまずは、各種団体が大垣市の目指すスポーツ振興のイメージを理解すること

が大切であると考え、計画について認識をもち、意識的に取り組みを行うことを各種団体に呼び掛けていただきたい。

（堤会長）

予定の時間が迫っていますが、ほかに意見等ありますか。

（事務局）

「体育・スポーツに関する市民アンケート調査」を平成 25 年度も実施させていただきます。

（堤会長）

よろしくをお願いしたい。ほかにありますか。

では、予定の時間となりましたので、ここで協議を終了し進行を事務局にお戻しします。

（事務局）

次回の審議会の開催ですが、平成 26 年 6 月を予定しています。来年度は「大垣市スポーツ振興計画」の後期計画（5 か年計画）を策定します。6 月の審議会において、平成 25 年度の取り組みの反省を行い、その後 3 回の審議会で後期計画を策定します。

今回事務局の理解、取り組みが不十分だったので、本日いただいた意見を生かし、取り組みについて検討したいと思います。また、後期計画についても原案を考えたいと思います。

《審議会閉会》

上記のとおり、会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するため、ここに議長の署名をする。

平成 25 年 11 月 14 日

議 長 堤 俊彦

本会議録の作成に係る職務を行った者

社会教育スポーツ課長 田中 伸司

押印いただきました原本については、大垣市スポーツ推進審議会事務局（社会教育スポーツ課）で保管しております。